

仮称「板橋区交通安全計画2020」(素案)に対するパブリックコメントへの区の考え方と最終案について

1 パブリックコメント実施の概要

- (1) 募集期間 平成28年12月10日(土)から12月26日(月)
- (2) 広報掲載 平成28年12月10日号
- (3) 閲覧場所 交通安全課、区政情報課、各図書館、区ホームページ
- (4) 意見の件数 2件

2 意見の概要と区の考え方

番号	項目	意見(概要)	区の考え方
1	その他の意見・要望	<p>交通は文明の血液循環であり、これがなくては文明活動も持続できません。交通が不便あるいは危険、高コストだと、経済・社会活動や教育・医療にも支障をきたします。</p> <p>この計画の優れた点は、第一に、交通安全を目的としながらも、実はそうした利便性や環境配慮、防災機能、さらに地域振興や福祉的配慮、学童安全、救急活動など、交通がもつ多様で重要な機能を高める政策を、総合的・体系的に網羅していることです。</p> <p>第二に、そうした政策を実現するための主体について、警察署、消防署、交通関係団体、事業者、ボランティア、そして区民という、関係する全ての主体の連携・協働によるとして、各主体の役割を定め、分権と協働という時代の流れに対応していることです。</p> <p>第三に、政策実現の手法についても、自転車・高齢者への課題の重点化、「ながらスマホ」など社会情勢への対応、新型への対応、新型の整備・用品の設置・普及、効果的な教育方法の採用や健康状態への配慮、保険制度や免許証返納制度の活用、関係団体への支援や交通円滑・事故抑止のための指導取締りなど、あらゆる技術的・政策的な手法を駆使し</p>	<p>板橋区の交通事故死者数は、ここ数年ほぼ一桁となっています。そこで、本計画において、「交通事故死者数ゼロ」という数値目標を立てました。しかし、その実現は大変厳しいものです。そのため、区、警察署、関係団体、区民等が一体となって取り組む必要があります。</p> <p>区は上記行政・関係団体等と連携して、交通事故を減らし、事故に伴う死者をゼロにするための施策や各種情報の提供を積極的に行い、目標の達成に努力します。</p> <p>また、「ながらスマホ」や「ブレーキなし自転車」など、新たな交通問題に対しても迅速に対応していきます。</p>

		<p>ていることです。</p> <p>日本の大動脈を擁する板橋区が、交通政策でも優れた業績を挙げられるように願います。</p>	
2	計画の変更点と内容の確認	<p>第8次計画から変更した点と、新しい計画の目標と課題を決めた理由を示してほしい。</p>	<p>「東京で一番住みたくなるまち」を実現するため、交通事故の減少と死者数ゼロを数値目標に掲げ、区は関係機関と連携を密にし、多様な施策の推進を図ります。また、2つの課題については、街中に溢れる自転車のルールやマナーが守られていないこと、高齢者の交通事故死者数が全体の半数を占めていることなどを重視して設定しました。従来より強化した対応に取り組みます。</p> <p>また、計画名を「板橋区交通安全計画 2020」と変更し、区の計画デザイン様式と同様にしました。一部の表をグラフ化し、交通安全教室の様子を写真で掲載するなど解りやすくしました。</p> <p>以上のような見直しを行い、区の独自性をできるだけ表現した計画といたしました。</p>

3 「板橋区交通安全計画 2020」最終案の審議について

(1) 最終案の決定に関して

計画に関係した機関に、パブリックコメントで公表した計画案を送付し、修正箇所の申出を依頼したところ、わずかな文言修正で済み、庁議関係者から最終案の承認が得られた。

(2) 今後のスケジュール

平成 29 年 1 月 17 日(火)	庁議でパブリックコメント・最終案の審議及び決定。
1 月 27 日(金)	都市建設委員会でパブリックコメント・計画の報告。
2 月中旬	パブリックコメントの内容を広報紙、HP で公表。